

令和元年度 香南市産業振興計画の取組について

• 農業部会	1	～	4	ページ
• 林業部会	5	～	6	ページ
• 水産業部会	7	～	8	ページ
• 商工業部会	9	～	12	ページ
• 観光部会	13	～	15	ページ
• サイクリング専門委員会	16	～	17	ページ
• 住宅部会	18	～	19	ページ

	各年度末目標値 (新規就農者数)	実績値 (達成率)	評価	備考 (新規就農者について)
R元年度 数値目標	15人			
H30年度実績	12人	9人	B	■ Uターン者 : 5人 Iターン : 4人 ■ 品目 : 生姜 ピーマン ニラ (ハウス) みかん (ハウス) トマト (ハウス)
H29年度実績	12人	7人	C	■ Uターン者 : 4人 Iターン者 : 3人 ■ 品目 : すいか みかん ピーマン ニラ 人参 ブロッコリー 生姜 オクラ スナップエンドウ

--

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。
よって、公表された前年度実績数が実績値となるため、H30年度の実績は9人で確定。(注1)はH29年度の新規就農者数実績、(注2)はH28年度の実績を記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題 (分析)	
基盤整備・防災	◆農業生産基盤の充実 (県防災減災事業)					
	1. 防災施設対策整備 ○黒谷ため池 (改修工事) 1箇所	本改修工事の完成に向け県との実施調整を行いながら、本年度内の工事完了を目指す。				
	2-1. 排水機場施設整備 ○吉原排水機場 (ポンプ及び電気工事) 1箇所	県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。				
	2-2. 排水機場施設整備 ○千切排水機場 1箇所	県と実施調整を密に行いながら早期完了を目指す。				
	3. 地域農業水利施設事業 ○烏川統合堰・総合堰 (改修工事) 2箇所	実施調整を行いながら年度内での竣工を目指す。				
	4. 農業水利施設保全合理化事業 ○物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。	南国・香美・香南を含む物部川統合堰の機能診断保全計画書を作成。 本年度に計画書を作成し、採択に向け調整しているが本年度内の着手は困難な状況のため令和2年度事業採択に向け進める。				
5. 農地耕作条件改善事業 (頭首工) ○門田堰・東佐古用排水路 2箇所	県及び地元実施調整を図りながら頭首工及び用排水路工事完了を目指す。					

基盤整備・防災	6. 土地改良施設維持管理適正化事業 ○竹ノ内堰(ゴム体修繕工事) 1箇所	管理者との実施調整を図りながら工事完了を目指す。				
	7. 工業用水道整備事業 (水路・道路等整備) ○水路1件(中組南18水路) ○道路1件(ナ丸1号線道路)	要望箇所の早期竣工に向け地元調整を図りながら工事完成を目指す。				
	8. 農業集落排水整備 (上岡地区集落道改良工事) ○4水路・14水路 計 2件	地元協議を図りながら要望箇所の早期竣工を目指す。 次年度に向け測量設計の発注計画を進めていく。				
	◆防災への対策					
基盤整備・防災	1. 重油流出防止付装置燃料タンク整備事業 (重油タンクの流出防止対策)	県の補助金が30年度終了するということがあったが、継続することとなったため、再び未設置の農家に周知を図り、設置率を上げていく。				
	○重油タンク流出防止対策 26基 ・タンク整備 15基 ・防油堤 9基 ・ヒートポンプ 2基					
経営改善・担い手	◆担い手対策の促進					
	1. 担い手育成センター研修支援事業 ○担い手育成センター研修費補助 10人支給	これまで取り組んできた広報等での周知を継続し、将来的な就農者の確保も視野に新規就農者の育成を図る。 就農相談時に担い手育成センターに入校するように推進し、農業の基礎知識をつけていただけるように促していく取組を行う。				
	2-1. 新規就農推進事業 ○親元就農応援区分 3人	東京や大阪で開かれる県主催の「新農業人フェア」、「高知農に就くフェア」等への参加に加え、平成30年度から始めた高知市のイオンモールでもPR活動を実施予定。 東京・大阪で行われる「高知暮らしフェア」へ参加し、周知拡大を図る。				
	2-2. 新規就農推進事業 ○専業農家育成区分 4人	同上				
	3. 農業次世代人材投資事業 ○経営開始型 10人支給(延べ数) ※新規 3人	産地提案書を基に広報やJA高知県香美支部、高知農業推進振興センターと連携し、周知を図っていく。				
	4. 農業後継者推進事業 ○農業後継者 15人(延べ数)	H30年度末で11名の給付が終了した。 目標値を達成するために引き続きPRを行い、新規就農者の獲得につながる周知の実施する。				

経営改善 ・担い手	5. 実践型研修ハウス整備事業 ○ハウス面積 30a	ハウス面積30a (10a×3棟) の建設 円滑な管理運営をしていく。					
	新 6-1. 地域活性化対策事業 ○山北みらい (山北モデル) の運営 に向けた調整・整備	H31.3.14に行政・民間の垣根を越えた「協定の締結」を行い、繁忙期の農業従事人員不足の解消を図る準備を実施。 今後山北みらいとの連携を行い、事業実施に向けた協議を進めていく。					
	新 6-2. 地域活性化対策事業 ○地域おこし協力隊の増員 新規 3人	農業担い手候補生2名、同研修生1名を増員し、就農者の獲得を図る。					
	◆経営の改善への対応						
	1. 園芸用ハウス整備事業 ○中古・新規ハウス整備件数 19件	JA高知県 香美支部、振興センターと連携し、事業を円滑に進めて行く。 また、各広報誌や郵送物に案内を入れるなどして周知を図る。					
	2. 経営所得安定対策推進事業 ○利用件数 750件	H30年度より米作のみの農家が対象外となったことから、件数を変更。 引き続き周知を図り、事業の推進に努める。					
	3. 農地中間管理事業 ○利用件数 5件	関係機関と連携をし、耕作放棄地の解消を図る。 また、認定農業者については案内文の送付や連絡協議会での担当者説明を実施予定。 認定農業者外の農家については、広報等で周知を行う。					
	4. 環境制御技術導入普及促進事業 ○利用件数 19件	県の補助金はH30年度終了する予定であったが、要望などにより継続することとなったため、再び普及に取り組んでいく。					
	5. 産地パワーアップ事業 ○利用件数の増加 30件 ・環境制御 15件 ・結束機 2機 ・そぐり機 10機 ・ハウス資材 3件	県の補助金はH30年度終了する予定であったが、要望などにより継続することとなったため、再び普及に取り組んでいく。なお、H30年度は駆け込み需要を見込み、目標数値を上げたが、継続が決まったことから、下方修正とする。					
	◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発						
1-1. 農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり) ○新商品販売開始数 1件	前年度まで進めてきた取組を前進させるため、新たな商品の開発を行い、ビジネスの向上に努める。						
1-2. 農山漁村振興交付金事業 (6次産業化の取組によるビジネスづくり) ○既存商品販売個数 山北みかんバター 3,000個 山北みかんかき氷 300個	加工品のブラッシュアップ、販路の強化を図る。また、加工品を含む「山北みかん」の認知度向上、ファン獲得のため都内PRイベントを開催。その他イベントへの参加によるPR活動を行う。						

経営改善 ・担い手	1. 地産地消推進協議会補助事業 ○学校給食への市内産野菜 (主要品目)の使用率 39%	本年度は4月より「にんじんの供給」を開始。 今後さらに新たに使用できる品目の計画を立て、学校給食への供給を推進する。				
	2. 信頼される産地づくり支援事業 ○利用件数 123検体	引き続き支援事業を行い安全・安心な農産物づくりに取り組んでいく。				
中山間	◆農地の保全と活用の促進					
	1. 中山間地域等直接支払事業 ○組織数 11組織	適正な維持管理を行ってもらうよう、指導・助言を行う。 4期対策 5年目の最終年度となるため、取組の維持に向けた説明会を開催していく。				
	2. 多面的機能支払事業 ○組織数 10組織	各広報誌、ケーブルテレビなどで制度の周知を図る。また、各地域の農業委員と調整し、事業が実施できそうな地区に対して、説明に出向く取組等を行い、新組織の立ち上げに繋げる。				
	◆有害鳥獣被害対策					
	1. 鳥獣被害対策実施隊 ○捕獲数 870頭羽 ・猪 220頭 ・鹿 150頭 ・カラス等 500頭羽	被害対策協議会等、各地区の狩猟代表者が集まる場において、鳥類駆除への協力を要望し、捕獲数増加・目標値達成を目指していく。				
2. 有害鳥獣被害防止事業 ○防止柵延長 10,000m	窓口等での案内や広報掲載等で本事業の周知を図り、事業を進めていく					

	各年度末目標値 森林境界 明確化面積 (ha)	実績値 (達成率)	評価	備考
R元年度 数値目標	150ha	ha		H31年度の目標値は150haとなっているが、H30年度までの実績を踏まえ、H31年度の目標値を50haと設定する。
H30年度実績	150ha	22.71ha	C	
H29年度実績	150ha	0ha	C	

--

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)		総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題 (分析)		
基盤整備	◆林業の振興						
	1. 林道道路側溝整備事業						
	①林道施設災害復旧 3路線4箇所	H30年度7月豪雨により被災した各林道施設のうち、今年応急仮工事までで終了している3路線4箇所を順次施工。					
	②林道維持管理舗装修繕工事 A=1,000㎡	舗装部を全路線でA=1,000㎡程度施工。					
	③側溝清掃 L=2,000m	各林道施設の状態を考慮し、特に改善の必要な路線においてL=2000m程度の側溝の清掃を行う。					
森林資源保全	◆林業の振興						
	1. 緊急間伐総合支援事業						
	①切捨間伐 (香南市全域) H30年度繰越分 1.43ha H31年度実施分 10ha	計画どおりに実施する					
	②保育間伐 (香我美町舞川・撫川・奥西川、夜須町仲木屋) 20ha	計画どおりに実施する					
	③搬出間伐 未確定	H30年7月豪雨で被災した県道・作業道の復旧が完了次第、事業を実施する。					
	④作業道整備 (夜須町仲木屋) 開設 400m 復旧 3箇所	計画どおりに実施する					

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH31年度の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
森林資源保全	2. 森林整備地域活動支援事業					
	①森林経営計画作成 (香我美町撫川) 50ha	昨年度予定されていた森林境界明確化の未実施箇所を含む50haを実施する。				
	②森林境界明確化 (香我美町撫川) 50ha	計画どおりに事業を実施できるように、今後も香美森林組合と連携しながら、森林所有者の特定に協力していく。 また、森林所有者への事業への理解が得られるように「森林境界明確化」について周知し、同意者を増やしていく。				
	3. 森林・山村多面的機能発揮 対策事業					
	○事業の活用に向けた周知	申請窓口が高知県森と緑の会のため、森と緑の会とともに周知方法を検討する。 また、事業説明用として活用しているチラシ等を香南市内の林業関係者に配布するとともに、香南市広報に掲載を行う。				
	4. 林地台帳整備事業					
	○システムの整備 (情報の更新・追加)	森林所有者や境界の情報の整備が不十分であるため、県と連携し、円滑な情報の追加・更新を進めていく。				
	5. 水源の森整備事業					
○搬出間伐 (香我美町撫川・奥西川) 10ha	計画どおりに実施する					
6. 森林整備推進事業 (高性能林業機械導入)						
○スイングヤーダ 1台の導入	計画どおりに実施する					
木質バイオマス	◆林業の振興					
	1. 森林の活用 ○農業ハウス用 ペレットボイラー譲渡。	既存の2基は運用中。 耐用年数に達したため、本年度中に利用者への譲渡を検討する。				
木育事業	◆山や森林に親しむ機会の提供					
	1. 森林学習事業 ○森林学習の実施	高知県森と緑の会の事業を活用し、小中学校の子どもたちを対象に森林学習を行い、森林に関心をもってもらう取組を実施する。				

令和元年度の取り組み計画【水産業分野】

■ 取組の総評
(※ 左の数値に対するの総評)

	各年度末目標値 沿岸漁業 総生産額 (t)	実績値 (達成率)	評価	備考
R元年度 数値目標	1,200 t	t		
平成30年度末	1,200 t	1,119 t	B	■ 沿岸漁業総生産量 1,119 t の内訳 (手結 499 / 赤岡 343 / 吉川 216 / 民間1社 61) ※ 三港の計 1,058 t ■ 漁獲高 358,873千円 内訳 (手結 95,259 / 赤岡 152,529 / 吉川 78,877 民間 32,208) ※三港の計 326,665千円
平成29年度末	1,200 t	839 t	B	■ 沿岸漁業総生産量 839 t の内訳 (手結 337 / 赤岡 316 / 吉川 186) ■ 漁獲高 292,760千円 内訳 (手結 71,200 / 赤岡 141,820 / 吉川 79,740)

注1) 水産業分野における目標値は沿岸漁業総生産量であり、【 】の漁獲高は参考数字として記載。

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するR元年度 (H31年度) の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題 (分析)	
改修整備	◆水産業の振興					
	1. 水産機能施設の整備 ○老朽化に伴う各種漁業用施設の改修整備 (2件)	県漁協吉川支所 水産機能施設改修事業 ・共同作業施設 (漁具倉庫) 雨漏り補修 ・集荷貯蔵施設 (冷凍庫) 機器更新 各支所単位で支所長・地区代表へのヒアリングを通じて、設備改修・整備を実施していく。				
	2. 漁港施設の整備 ○機能保全計画に沿った保全工事の実施 ○吉川漁港海岸堤防耐震化の事業化に向けて関係機関と調整 ○県営事業 (港湾・漁港・海岸) への要望活動継続	・住吉漁港 西防波堤 設計業務 ・吉川漁港 船揚場 (4) ・護岸 (東) 保全工事				

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するR元年度(H31年度)の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
経営基盤強化	◆水産業の振興					
	1. 新規漁業就業者の確保 ○(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による新規漁業就業者の確保	・センター事業への支援・連携・活用 【自営漁業者育成事業】 【雇用型漁業支援事業】 【漁家子弟支援事業】				
経営基盤強化	2. 漁場の保全 ○手結地区藻場保全活動 母藻の設置 ○赤岡・吉川掃海事業 出水時の掃海	・【手結地区藻場活動】 活動組織による母藻採取実施 ・【赤岡・吉川掃海事業】 掃海用網の整備(赤岡・吉川各1網)				
	3. 漁業者の所得向上 ○沿岸漁業設備投資促進事業 ○シラス漁における所得向上対策の検討 ○種子島周辺漁業対策事業	・沿岸漁業設備投資促進事業 (エンジン導入) エンジン導入に伴う燃費向上等の経費削減及び生産性の向上に対する支援を実施し、漁業者の所得向上を図る。 ・シラス漁における所得向上対策の検討 生産・加工・流通・販売の一連の流れの中で対策を考えていく必要があり、先進地事例を探し、視察することで、今後どのように進めていくか検討することも考えていく。 また、シラス漁に特化した話し合いの場を持つことも検討していく。 ・種子島周辺漁業対策事業 県漁協手結支所が行う「築いそ設置事業」により、イセエビの生産量の増加・漁業者の所得向上を図る。				
廃	4. 観光漁業の推進 ○地引き網の取組、議論とも停滞のため一時検討を中止	-				
生産・加工 流通・販売	◆水産業の振興					
	1-1. 水産加工品流通販売の推進 ○シラス(かちりじゃこ)の学校給食納入に向けて取り組みを継続及び実現	・給食センターによる加工場視察 ・課題解決策検討 ○配送時間対応 ○混獲物除去・大きさ等				
新	1-2. 水産加工品流通販売の推進 ○市内水産物の認知度向上に向けた取り組み(ネーミング等) ○内水面漁業振興策の掘り起こし	・関係機関との協議 ・内水面漁業関係者からの意見・課題等の聞き取りを実施し、部会の中で報告し、振興策の検討を実施できるような体制づくりを行う。				

	各年度末目標値 製造品出荷額 (億円)	実績値 (達成率)	評価		備考
R元年度 数値目標	500億円以上	億円			
H30年度実績	500億円以上	397億円 (注1)	B		
H29年度実績	500億円以上	371億円 (注2)	B		

※ 目標値である「製造品出荷額」は毎年2月に公表されるため、(注1)はH29年度、(注2)はH28年度の製造品出荷額を記載。

--

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題 (分析)	
ものづくりの 基盤整備 新	◆企業誘致の促進					
	1. 香南工業団地整備事業 ○団地内の周辺整備や適切な維持管理 ・ 1号調整池の浚渫 ・ 法面及び排水路の維持管理	・ 1号調整池測量調査設計委託業務 ・ 1号調整池浚渫工事 ・ 法面の草刈及び排水路の土砂撤去				
	2. 香南工業団地企業立地促進事業 ○立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る ・ みすまる加工(株)の新規雇用者数 16名 (内地元雇用者半数以上)	・ 会社説明会、面接会の開催 2次募集 (R2年9~10月) …10名求人予定 3次募集 (R3年3~4月) …6名求人予定 ・ 市HP及び市広報誌への掲載 ・ 香南CATVへのテロップ放送				
	3. 丸三産業(株)香南工場 ○工業用水の安定的な供給 ・ 操業開始 (R元6月予定) に向けて安定的な工業用水の供給について地域や関係団体との調整に努める。	・ 取水及び排水関係団体との調整 ・ 各地区水源対策委員会の開催 ・ 香南工業用水対策特別委員会の開催 (5/24) ・ 地下水保全条例の策定検討 ・ 県、市の工業用水施設統合				
	4. 川谷刈谷工場用地 ○川谷刈谷工場用地への企業誘致 1社	・ 再公募 (H31.1/15~3/8) 後の企業選定 ・ 川谷刈谷工場用地排水管設置工事				

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH31年度の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
ものづくりの 基盤整備	新 5. 旧ルネサス東駐車場 ○旧ルネサス東駐車場への企業誘致 1社 ・工場用地として取得し、分譲を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 土地鑑定及び用地測量の委託 用地買収 公募要領の作成→公募 				
	新 6. 事務系企業の誘致 ○立地企業 2社	<ul style="list-style-type: none"> 空き家、空き店舗の物件調査 イシン(株)との連携による首都圏企業訪問 首都圏企業ツアーの開催(8月予定) 				
ものづくり	◆既存企業の育成・支援					
	1. 香南市香我美町企業立地交流会 ○懇談会の開催 年1回 ・H30年度比で参加者数の増加 (H30実績8企業10名の参加)	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問による事業照会や現状、課題の把握 新規立地企業の入会勧誘(2社) 香南市ものづくり会との合同開催 				
	2. 香南市ものづくり会 ○懇談会の開催 年1回 ・H30年度比で参加者数の増加 (H30実績8企業10名の参加)	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問による事業紹介や現状、課題の把握 香我美町立地企業交流会との合同開催 ものづくり職人の香南市表彰への推薦 				
	3. 香南市産業人材育成事業 ○利用件数 5件 ※補助率1/2 上限200千円×5事業所	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問や懇談会での事業紹介 市ホームページへの掲載 研修機関への事業紹介 				
	拡 4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 ○利用件数 10件 ※補助率1/2 ※6,428円(自宅通学生の借入平均月額1/2)× 12ヶ月×10人	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付要綱の一部を改正し、事業の拡充を図る 【改正内容:対象業種を拡充】 企業訪問や懇談会での事業紹介 市ホームページへの掲載 				
	新 5. 合同企業説明会の開催 ○合同企業説明会の開催 2回	<ul style="list-style-type: none"> 市内施設での合同企業説明会の開催 城山高校での合同企業説明会の開催 				
6. 中小企業者の生産性向上支援事業 ○中小企業者の先端設備導入計画の 認定件数 30件	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問による事業紹介 商工会会員への事業紹介 市ホームページへの掲載 					

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
商業支援 【新】 【拡】	【既存企業の育成・支援】					
	1. 香南市緊急融資保証料補給金事業 ○新規利用件数：2件 (7年満期+10年満期) ※ 令和元年度より「金額」ではなく、セーフティネットとして活用された新規件数(既存利用数からの増加数)を目標数値とする。	商工会や金融機関等と連携し緊急融資を必要としている対象者への周知を行う				
	2. 魅力のある商業地・商店街づくり ○香南カーニバル継続開催 バル参加店数の増加 ____件(検討中) 【参考：H30実績 45件】 ※ 令和元年度より「チケットの販売数」ではなく「バル参加店数」を目標数値とする。 ※ 令和元年度のバル実行委員会開催後件数を決定する。	香南市内外の方に、香南市内の飲食店の魅力を知っていただく機会の提供を行うため香南バルを開催する。				
	3. 学びの機会の創出 ○事業者向けセミナーの開催 1回	事業者が必要とするSNSを活用した情報発信講座等の「学ぶ機会」を提供する。				
	4-1. 空き店舗等の活用【補助金交付】 ○空き店舗等対策事業費補助金利用件数 2件 【参考】 市：補助率2/10 上限 400千円 県：補助率1/2 上限1,000千円	香南市空き店舗対策事業費補助金の要綱を一部改正し、補助対象を香南市の「商店街の活性化」から「商業の活性化」へと拡充し、空き店舗の活用に繋げるとともに、HP等での情報発信を継続して実施する。 空き店舗を活用し創業される方には香南市外の方もいる。香南市民の創業者のみが受けられる支援を検討し、香南市外の創業者が創業を機に転入へと繋がる取組を地域支援課と連携し検討していく。				
	4-2. 空き店舗等の活用【事業継承診断の実施】 ○事業継承診断の実施 28件	H30年度に実施した28件の事業者への継続的な支援(専門家の紹介、支援機関との連携等)を実施するとともに、高知県が推進する「事業継承診断」の取組を進めていく。				
	4-3. 空き店舗等の活用 【商工会等HPへの空き店舗物件の掲載】 ○商工会等HPへの空き店舗物件掲載数 10件	市内不動産業者へ協力要請を図り「空き店舗の情報」を取りまとめ、商工会HPに加え、こうち創業villageや香南市のHPにも空き店舗物件を掲載し、周知の拡大を実施。				
	5-1. 創業支援【ワンストップ窓口相談件数】 ○ワンストップ窓口 創業に関する相談件数 35件 (商工水産課+商工会)	引き続き、商工会や金融機関と連携し、創業支援を希望される方への相談窓口の対応強化を図る。				

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題 (分析)	
商業支援	新 5-2. 創業支援【創業支援計画の見直し】 ○創業支援計画の見直しやブラッシュアップを実施	令和3年3月31日の創業支援事業計画の認定期間終了を前に、創業者が安心して香南市で起業するための相談体制を整え、創業後も長く事業を続けられるよう事業内容の見直しやブラッシュアップを実施する				
	新 6. 商業経営のIT化への取組 ○キャッシュレス化等の整備に取組む事業者への支援の検討	キャッシュレス化への対応やITツール等を経営に取り入れることで経営の改善を図る事業者への支援を検討。				
	7. 創業支援利子補給金交付事業 ○利用件数 3件 (※100,000円×3件)	市内金融機関9か所に周知用チラシを作成し、利用増に繋げていく。 ※周知時期 (2回を予定) ・金融機関の人事異動後の4~5月 ・事業申請直前の11月を予定				

	各年度末目標値 観光施設入込客数 (万人/暦年)	実績値 (達成率)	評価	備考
R元年度 数値目標	120万人			
H30年度実績	120万人	106.2万人	B	【根拠数値】 ・実績値は暦年（1月-12月） ・対象施設11か所 ①のいち動物公園 166,504 ②月見山こどもの森 25,647 ③ヤ・シィパーク 339,679 ④絵金蔵 10,265 ⑤香南市サイクリングターミナル （宿泊者以外） 2,321 ⑥天然色市場 8,139 ⑦やすらぎ市 209,067 ⑧あぐりのさと 20,998 ⑨黒潮温泉 109,436 ⑩アクトランド 100,418 ⑪土佐カントリークラブ 69,704
H29年度実績	120万人	107.7万人	B	【根拠数値】 ・実績値は暦年（1月-12月） ・対象施設11か所 ①のいち動物公園 163,967 ②月見山こどもの森 25,747 ③ヤ・シィパーク 345,985 ④絵金蔵 12,851 ⑤香南市サイクリングターミナル （宿泊者以外） 1,780 ⑥天然色市場 40,200 ⑦やすらぎ市 211,207 ⑧あぐりのさと 19,205 ⑨黒潮温泉 109,768 ⑩アクトランド 71,771 ⑪土佐カントリークラブ 74,794

--

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題（分析）	
核となる観光拠点の 形成	◆観光の振興					
	1. 三宝山観光拠点化事業 ○地元企業による三宝山山頂の再開発計画 への支援	・山頂については、運営事業候補者のうちの1者が、一体的な開発を検討していることから、基本構想や基本計画などで議論してきたコンセプトやターゲット等は今後も活かしていきながら、運営事業候補者が三宝山エリア全体での観光拠点化に向けた取り組みに参画していただけるように、事業者間の調整を行う。 ・香南市に加え、物部川地域の他の観光関係事業者との連携・協働に向けた仕組みづくりを高知県と連携しながら関わっていく。				

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
核となる観光拠点の 形成	2. ヤ・シィパーク周辺地域の活性化 ○ヤ・シィパーク入込数 36.6万人	<ul style="list-style-type: none"> ■ランドデザインを基にした事業着手 ■グランピングテント等を活用したイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・4/27~5/5ヤ・シィファミリーキャンプ(予約制) ■YASU海の駅クラブと連携したマリンアクティビティの提供(5~11月にマリン体験受入400人) <ul style="list-style-type: none"> ・マリンスポーツ体験会(4/28,29) ・地域おこし協力隊1名を雇用し、海の駅クラブ職員との2名体制で、ヨットやSUP等のマリン体験事業を海水浴場内で実施。 ■レンタサイクル事業(R2.4月~)に向けたモニタリング <ul style="list-style-type: none"> ・4/27~5/5キャンプ利用者向け ・7/20~8/31(予定)道の駅利用者向け 				
	3. manamanaの取組について ○加工所兼店舗売上高 54,193千円	<ul style="list-style-type: none"> ■カフェ売上の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・ランチメニューの拡充と新商品の開発 ・繁忙期の店頭対応に必要な人材の確保 ・店舗のPR ■外販強化 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加 ・HPを活用した広報の充実 ■生産体制 <ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期に備えたアイスバーの在庫確保(目標ストック30,000本) ・原材料殺菌処理方法の確立 ・HACCP第2ステージ取得による衛生管理意識の向上 				
広域観光の推進	◆観光の振興					
	1. 歴史観光の推進 ○115,500人 ・絵金蔵入館者数 10,500人 ・アクトランド入園者数 105,000人	<ul style="list-style-type: none"> ・通年にかけて、様々な企画展、イベントを実施する ・トリップアドバイザー等のSNSを活用した情報発信 ・旅行会社へのセールス活動の実施 ・外国客船のオプションツアー受入 				
	2. 観光施設間の連携 ○香南市観光施設連絡会の開催(年4回) ○市内各地域の観光施設や宿泊施設等の相互交流や活動の活性化を行い、市内への誘客や周遊促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設連絡会の開催 ・観光施設の視察・見学等を実施し、施設間の情報共有を行う ・ヤ・シィパークを中心とした観光クラスター形成に向けた協議 ・レンタカー利用者をターゲットとした周遊促進企画の実施 				
	3. 歌舞伎でまちおこし ○イベント参加者数(延べ)1,200人	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐絵金歌舞伎定期公演 ・上方落語会 ・歌舞伎体験等の体験メニュー化に向けた協議 ・クラウドファンディング等を活用した人力車の導入 ・歌舞伎を題材としたワークショップの継続実施 				
	4. 塩の道を活用した取組 ○イベント参加者数(ガイド等含む) 650人 トレイルランニングレース参加者 25km:200人 / 60km:100人 30kmうおーく:100人 他(ガイド等):250人	<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルランニングレースの開催(10/6)25kmコース 60kmコースは開催するか検討中 ・30kmうおーくの開催(3月) ・塩の道ガイドウォークの受け入れ ・OTAへの登録 				
	5. サイクリング事業 詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載	詳細はサイクリング専門委員会の資料に記載				

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
広域観光の推進	6. 物部川エリア広域観光連携事業 ○主要観光施設入込数 739,500人 (対象施設 9カ所) ・高知県立のいち動物公園 ・創造広場「アクトランド」 ・絵金蔵 ・西島園芸団地(南国市) ・高知県立歴史民俗資料館 ・香美市立やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム(香美市) ・龍河洞(香美市) ・べふ峡温泉(香美市) ・ザ・シックスダイアリーかほくホテル アンドリゾート(香美市)	・観光客動態調査によるデータ分析 ・満足度向上のためのアンケート調査及びフィードバックによる問題点の改善 ・PR動画の作成及びエリア関係者が連携した観光PRの実施 ・ミキハウスエリア認定の継続及び認定を活用した広報等の実施 ・MONOGLAMERの実施 ・ものがわフェスタの開催 ・3市の観光資源を活用した旅行商品の造成・販売 ・地域イベント・スポーツ大会等での宿泊手配 ・県主催商談会への参加や旅行会社への個別セールスの実施 ・人材育成のための先進地研修等の実施 ・6次化商品開発のためのものべみらいとの協働				
	7. 市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業 ○カタログ売上額 104,200千円 ・カタログ 4,200千円 ・ふるさと納税 100,000千円	・通年カタログの改編・配布 ・シーズンチラシ作成・配布 ・こうなん健康チャレンジポイントの継続 ・各種イベント等への出店 ・新たな事業者開拓や期間限定コラボセットの開発 ・れんけいこうち事業等を活用した販路開拓				
	8. 地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業 ○観光客入込数 70万人※暦年 ※対象施設一覧 ①高知県立のいち動物公園 ②創造広場「アクトランド」 ③高知県立月見山こどもの森 ④絵金蔵 ⑤ヤ・シィパーク ⑥香南市サイクリングターミナル(宿泊以外) ⑦弁天座	・SUNSETシーカヤック ・土佐塩の道トレイルランニングレース ・羽尾暮らし体験モニター ・高知県観光説明会・商談会への参加 ・こじゃんと等地域情報誌での情報発信				
人材の育成	◆おもてなしの向上					
	1. まちの案内人会 ○会員数の増加を図る。 延べ26人(うち、新規3名) 【参考 H30年度末:23人】	・他団体との交流による情報共有 ・新規会員獲得に向けた広報活動 ・観光協会・物部川DMO協議会と連携したガイドの実施 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報発信の継続				
国際観光の推進	◆外国人観光客の受入体制づくり					
	1-1. 外国人観光客の受入体制づくり ○外国人観光客受入研修の実施 2回	・高知新港への継続出店 ・外国人観光客受入研修の継続実施 ・インバウンド向けモデルコース策定 ・市内観光施設外国人観光客入込数把握に向けた仕組みづくり				
	1-2. 外国人観光客の受入体制づくり ○多言語対応パンフレットの作成	・多言語対応パンフレットの作成及び県内主要施設での配布				

新

	各年度末目標値 レンタサイクル 利用者(人)	実績値 (達成率)	評価	備考
R元年度 数値目標	2,300人			
H30年度実績	2,100人	2,156人	A	
H29年度実績	1,800人	2,060人	A	

--

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
自転車を活用 した観光への 取組	1. 各種イベントの開催 ○イベントの開催 年間参加者数 500人	・自転車教室 ・ポタリング ・シクロクロス大会 ・シクロング、ヒルクライム等				
	新 ○新規サイクリングイベントの開催 1回開催	・観光客誘致と香南市のPRに繋げるイベントの実施。 (三宝山を活用した企画)				
	2. 香南市のサイクリングに対するPR	・Maze-Cle等と連携し、中上級者のサイクリストが 満足できる山道などを活用したサイクリングコースの 設定に向け検討する。(この設定により全8コースと なる)				
	新 2-1 ○中上級者向けのサイクリングコース の設定 新規 2コース					
	新 2-2 ○各種イベント等へ出展又は出場し 香南市の取組をPRする。 年間参加イベント数 6回	①高知仁淀ブルーライド(5月) ②shimanoロードレース大会(鈴鹿市)に出店予定(8月) ③安芸・室戸パシフィックライド(12月) ④サイクルモードライド大阪に出店予定(1月) ⑤四万十・足摺無限大チャレンジライド(3月) ⑥広島県で開催されるイベントへの出店 (県コンベンション協会にて調整中)				
	新 2-3 ○サイクリングの取組を通じた香南市 のPR	・香南市の取組を统一的に表すキャッチフレーズを 専門委員会で考え、PRの強化に繋げる(5月) その後ロゴも作成する ・サイクリストが携帯できる折りたたみパンフレット を作成(8月) ・動画を活用したPR				
	3. レンタサイクルの利用者促進 ○レンタサイクル利用者 2,300人	・自転車安全利用月間に無料貸出日を設けPRを 実施する。 ・小型のタンデム自転車を購入し、子供から大人まで タンデム自転車を利用できる環境を整える。 ・レンタサイクルが利用されにくい月の原因調査と 底上げの協議を実施。 ・ヤ・シィパークにてレンタサイクルモニターを 実施し、ヤ・シィパークでのレンタサイクル事業の スタートの検討を行う。(5月と7月)				
	4. サイクルオアシスの充実 4-1 ○サイクルオアシスの新規設置 5件	・観光施設・店舗等への誘客・満足度の向上を目指す ために高知県観光コンベンション協会が取組を進める 「サイクルオアシス設置事業」を市HPや市広報誌で 推進していく。				

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
自転車を活用 した観光への 取組	4-2 ○ブルーライン敷設 3コース	・サイクリングコースを利用者が快適に走ることができるようブルーライン(路面標示)を敷設する。 ※ 既存6コースの中から3コースを選定し実施。 次年度以降、他コースも継続実施)				
	新					
障害者や高齢 等へのスポー ン推進	1. タンデム自転車の利用強化	・障害者等が安心してタンデム自転車を利用できる環境を整えるため、タンデム自転車のパイロット講習会を開催し、パイロット養成を実施。 ・障害者等が気軽にサイクリングを楽しむことができるように養成したパイロットを派遣できる「パイロットバンク」の仕組みづくり・運用方法を考える。				
	1-1 ○パイロット養成 10人					
	1-2 ○イベント貸出数 2回	・既存のサイクリングイベント等に、タンデム自転車の紹介、体験を通じて、周知を進める。 ・障害者支援施設や介護施設等へ情報発信し、PRを行う。				
新	1-3 ○レンタル回数 50回	・広報誌やホームページ等の媒体を通じ、障害者等でも楽しめることをPRする。 ・障害者支援施設や介護施設等へ情報発信し、PRを行う。				
健康増進と環境 に配慮した取組	1. 健康ポイントを活用した取組 ○健康サイクリングの開催 4回 (各回 20名)	・健康サイクリングを開催し、健康増進を図る。 5/25、6/22、9/21、10/19を予定。				
	2. CO2の排出抑制 ○削減目標の設定を行う。	・地球温暖化対策実行計画の中にあるエコ通勤キャンペーン(仮:H32年度実施予定)へ向け、環境対策課と連携・協議及び整理を進め、削減目標を決定する。				
自転車の安全利 を推進する 取組	1. 交通マナーや交通事故等へのリスクに 対する備え ○レンタサイクル利用者のヘルメット 着用率 100%	・市内レンタサイクル事業者と調整を図り、貸出時に必ずヘルメットの着用をしていただく仕組みづくりの実施。				
	○事故発生個所や危険個所の把握及び 啓発危険個所マップの作製	・香南市内の自転車事故発生個所を確認し、地図を作成する。 ・自転車をレンタルする方や、市内の学校に配布し、啓発を行うとともに道路改善の指標の一つとする。				
	新	○安全教室の実施 秋春2回開催	・警察の交通安全運動や交通安全教室等と連携した交通安全教室を開催し、市内小・中学校、一般市民を対象に自転車のマナーや交通ルールの向上を推進する。			

令和元年度の取り組み計画 【住宅分野】

数値目標				
			-	

戦略の柱	事業名	具体的な取組 【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括 【C】		今後の取組 (対策、改善について) 【A】
	取組に対するH31年度の 目標値 【P】		実績値	評価	原因及び課題 (分析)	
拡 住環境の整備	◆住環境の整備					
	1. 住宅リフォーム制度 利用件数 75件 (予算額 15,000千円) ・市内に所有し、住居する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20% (上限20万円) を補助。	・リフォーム補助金の需要は多く、また、上限20万円を利用していない方より「再度利用できないか」との声も多くあったことから、補助金交付要綱の一部を見直し、上限額に至っていない方は再度当補助金を利用できるように拡充。 ・広報、HPにて推進を図る。				
市営住宅の整備	◆市営住宅の整備					
	1. 浄化槽等設置工事 浄化槽等設置工事 22件	・生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設。				
住宅の耐震化	◆住宅の耐震化					
	1. 住宅耐震診断事業 ・香南市木造(非木造)住宅耐震診断費補助金 ※木造…診断費用の自己負担3千円 非木造住宅…3万円補助 利用件数 120件	・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・戸別訪問の実施。 ・ふれあい祭りによるブース展示。 ・チラシの配布				
	2. 住宅耐震改修費補助事業 ※香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。 (設計1棟あたり上限305千円、 改修1棟あたり上限1,000千円) 利用件数 設計 90件 工事 90件	・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・戸別訪問の実施。 ・ふれあい祭りによるブース展示。 ・チラシの配布				
住宅の耐震化	3. コンクリートブロック塀耐震対策事業 ・香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 ※避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助。(上限205千円) 利用件数 30件	・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布				

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	目標値に対する実績 (成果等)	総括【C】		今後の取組 (対策、改善について)【A】
	取組に対するH31年度の 目標値【P】		実績値	評価	原因及び課題(分析)	
空き家対策	◆空き家対策					
	1. 老朽住宅等除却事業 ・香南市老朽住宅等除却事業費補助金 ※避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。 (補助率80%、上限1,645千円) 利用件数 40件 (参考 H30目標数値: 20件)	・市広報・HPへの掲載。 ・自主防災連絡会での周知。 ・チラシの配布				
	2. 空き家バンク事業 【登録棟数(延べ)】40棟	・まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を継続して行い、空き家の掘り起こしに取組む。				
空き家対策	3-1. 空き家改修事業費等補助金 【空き家改修事業】 (空き家改修事業: 国県財源措置あり、空き家修繕及び荷物処分等支援事業: 一部県財源措置あり) ※市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。 【空き家改修事業件数】3件	・移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、補助金要綱の一部を見直し、要件によってはマッチング成立前に補助金の活用ができるよう拡充。 補助事業完了後は、空き家バンクに一定期間登録する等の条件を明確に付した空き家活用住宅としていく。				
	3-2. 空き家改修事業費等補助金 (空き家修繕等支援事業: 一部県財源措置あり) 【空き家修繕事業】 ※市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費(200千円以下で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた畳の交換、網戸の設置等)を補助する。 空き家修繕事業 2件	・3-1を参照。				
	3-3. 空き家改修事業費等補助金 (空き家修繕及び荷物処分等支援事業: 一部県財源措置あり) 【荷物処分等支援事業】	荷物処分支援事業は、住宅施策と関連性がないので、取組は空き家修繕事業に限定。産振計画における取組としてはR元年度より削除。 (※事業廃止ではありません)				